

Ogata

JAだよりおおがた

5
MAY
2016 No.514

特集 JA共済・保障のご確認を！ 04



今月号の主な内容

- 02 表紙紹介・あぐりプラザ情報・健康百科
- 03 女性部活動だより
- 06 営農だより
- 07 インフォメーション・理事会報告・青年部活動報告と予定・職員人事
- 08 フォトニュース



JA大潟村

食と農業の大切さを学んで

J Aバンク教材贈呈事業

J Aバンクでは4月14日、大潟小学校の5年生に食農教育に関する教材を贈りました。

これは、J Aバンクが取り組む「食農教育応援事業」の一環として平成20年度から実施しているもので、子どもたちに食・環境と農業への理解を深めてもらうことを目的としています。教材は冊子形式で、食と農業の関わりなどを総合的に学び、農業に対する理解を多面的に広げられるようになっていきます。

児童の一人は、「親が米を作ったり、祖母がハウスで野菜を作ったりしているが、自分は関心がなかった。でも、この教材を見て少し農業に興味が出てきた」と感想を述べました。

また同日は、J A生活課が「いのち・自然・食べ物・健康・農業」の大切さを伝える雑誌「ちやぐりん」を新一年生に贈りました。



高橋常務から教材を受け取る児童代表

「銀河のちから」生育順調

麦現地講習会

麦類生産班と麦類種子生産組合は4月28日に現地講習会を行い、生産者など約20人が参加しました。

J Aの営農指導担当職員や秋田地域振興局普及指導課職員とともに、昨年から本格的に栽培している新品種「銀河のちから」や、種子用に栽培している従来品種の「ネバリゴシ」の栽培圃場計13箇所を巡回し、草丈や葉緑素計値、茎数などを測定しました。



時折強い雨が降る中、生産者の圃場で生育調査を行いました

今年は例年よりも雪解けが早かったため生育の回復が早く、生育はおおむね順調とのこと。

「銀河のちから」については、生産者が製粉会社と協力して、秋田県内のパン屋やラーメン店での営業に力を入れていきます。今年は約39畝で栽培され、小麦粉にした状態で100トの収穫を予定しています。

JRからのお願いです 風で飛んだ農業用ビニールが 列車を止めます!



電線に引っかかっているビニール等の異物を見つけたら、感電の恐れがありますので、触らずにJRへご連絡ください。
連絡先 秋田電力指令 TEL018-831-0542
JR東日本 秋田支社



農作業機械の取り扱いには注意!

機械での作業を中断するときには、エンジンを停止!
駐停車をするときには、駐車用ブレーキを確実に!
慣れていても「ちょっとだけだから・・・」は、しないで!

一人一人の気づきで農作業事故防止を

2016年 春の農作業安全月間

JAグループ

